

REACH 規則、RoHSⅡ 指令非対応

DOP 機能性フィルム

アキレス機能性軟質フィルムは不燃性透明帯電防止フィルムの“アキレスフネンクリアⅡ”、ストリップ型の“アキレス ミエールシリーズ”、アコーディオン式の“アキレス オレールシリーズ”、耐寒タイプ、自己粘着タイプなど特殊な用途に対応可能な幅広いラインアップを展開しています。

アキレス ビニラス



表面抵抗率 $10^{10} \Omega$ （オレンジ実測値）レベルの帯電防止性能と優れた紫外線遮蔽性能を兼備するクリーンルーム対応自己粘着塩化ビニールフィルムです。平滑なガラス表面に貼るだけで帯電防止の紫外線遮蔽ガラスとなります。粘着剤を使用しないので、剥がしたあとに糊による汚染もありません。

▲設計施工、ご使用時の注意

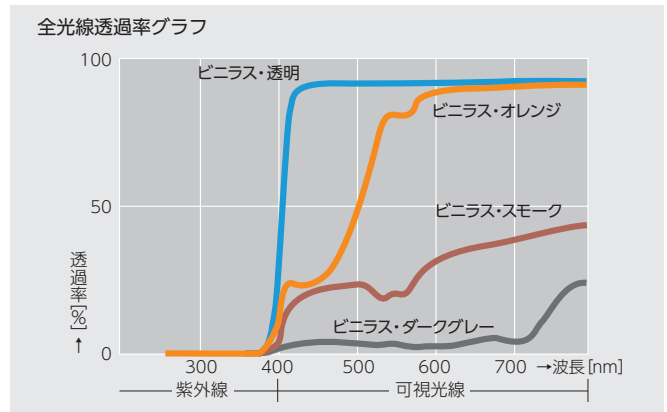
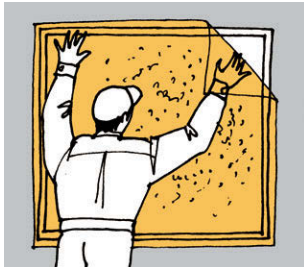
- ①表面が平滑なガラスに貼れます。曇りガラスや型ガラス、曲面には不向きです。
- ②軟質塩化ビニールは他のプラスチックと長時間接触すると可塑剤の移行により表面を汚染する場合があります。プラスチックに貼りたい場合は代理店に適否をご確認ください。
- ③《アキレス ビニラス》は飛散防止フィルムとしてはご使用になれません。

▲注意

- ①直接日光の当たる所では使用しないでください（ガラスが割れる可能性があります）。
- ②熱割れのおそれがありますので、「網入りガラス」には使用しないでください。また、使用場所、ガラスを選定してください。
- ③しっかり貼るために、施工は専門業者にお任せください。
- ④物性、外観は軟質塩化ビニールに準じます。

貼り方

①ガラスの大きさより10%程度大きめのビニラスを準備してください。②ガラスをきれいに拭いて、霧吹きなどでガラスの表面に水滴を付け③離型紙からはがしたビニラスを、離型紙側をガラス面に向けて貼ります。④上からプラスチックの板などで中央から端にむけて水と空気をすきだします。⑤ガラスからはみ出した部分をカッターナイフなどでカットします。



在庫規格表

項目	ビニラス
色	透明、オレンジ、スモーク、ダークグレー
厚さ [mm]	0.2
幅 [cm]	100
巻数 [m]	10
防火性	—

Pick up Word

●移行 [Migration]

プラスチックが他の物質と接触したとき、可塑剤などの配合剤が相手物質に拡散、浸透してゆく現象。(⇒ブリード)

●酸素指数 [Oxygen Index]

物質の継続的燃焼性を評価する指標。一般に、継続的に燃焼するために大気中の酸素濃度(21%)より濃い濃度の酸素が必要な場合、その物質は燃えにくいと評価できる。[関連規格: ASTM D2863、JIS K7201]

●自己消火性 [Self-extinguishness]

炎に接している間は燃えるが、火元を取り除くと延焼せずに自然消火する性質。

●帯電圧減衰時間 [Static decay time]

材料の電荷拡散性の指標。米軍 MIL 規格では正負とも 5000V の印荷電圧が 50V に減衰 (99%減衰) するのに 2 秒以下と定められている。[関連規格 MIL B81705]

●帯電防止 [Anti-static]

一般に、導電性(表面抵抗率 $10^5 \Omega/\square$ 以下)、静電気拡散性 = ESD (同 $10^5 \sim 10^9 \Omega/\square$) に対して、表面抵抗率 $10^9 \sim 10^{12} \Omega/\square$ レベルを指す。

●(公財) 日本防火協会 [Japan Fire Retardant Association]

総務大臣が指定する確認機関として、消防庁の監督のもと防火性能試験、防火ラベル交付、防火に関する技術向上や広報活動を行う。同協会が交付する防火ラベルは、消防庁長官によって「登録表示者」として登録を受けた者に限られている。

●防火性能試験登録番号

消防法施行令第4条の3に定める試験方法により(公財) 日本防火協会が法に定める基準に適合する防火性能をもつと認める防火物品を登録する番号。

●消防法施行令第4条

消防法施行令第4条では防火管理者の責務を定めており、第8条が定める防火対象物(高層建築、地下街、学校、病院、劇場、旅館、百貨店など)において使用するカーテン、布製ブラインド、じゅうたん、工事用シート等の防火対象物品とその防火性能について、残炎時間、残じん時間、炭化面積、炭化長および接炎回数等の基準を定めている。

●体積固有抵抗率 [Specific Volume Resistivity]

材料固有の電気絶縁性を示し、単位体積(1cm 角立方体を想定)の相対する面に電圧を加えた時の電気抵抗を表す($\Omega \cdot \text{cm}$)。

●防火 [Flame resistance]

「防火」という言葉に厳密な定義はないが、「耐火」や「不燃」を、直接火炎を受けても物質の性質が変化せず、煙やガスを生じないものに使うのに対して、木材や布、プラスチックなど本来可燃性の材料に何らかの処理をして燃えにくくしたものや、火元があると燃え続けるが火元を取り去ると自然鎮火する自己消火性をもつものについて言う場合が多い。

●防火ラベル

消防法施行令に従って審査に合格した防火製品に対して(公財) 日本防火協会が交付するもの。防火ラベルを製品に貼付することの出来るのは、消防庁長官により「登録表示者」として登録認定を受けた者に限られている。



警告

- 《セイデンF・UVガード》のフッ素樹脂を使用した製品は、燃焼の際有毒ガスを発生します。絶対に燃やさないでください。



注意

<PVCフィルム>

- 印刷の都合により、色味は実際の色と異なる場合があります。
- 軟質塩化ビニールは、一般的に紫外線、雰囲気中の溶剤等の化学物質、オゾンなどにより経時変化が促進されることがあります。状況に応じて早めの交換をお薦めします。
- 軟質塩化ビニールは、一般的に可塑剤の移行により接触している他樹脂製品を汚染する場合があります。アキレス代理店に適合可否をお問い合わせください。
- 軟質塩化ビニールは、一般的に耐熱性はありません。シート温度が60℃以上になる場所では使用しないでください。
- 軟質塩化ビニールは、その特性上ご使用環境により寸法が変化いたします。
- プラスチック製品は、当該自治体等により定められた方法により廃棄してください。
- 《セイデンF》などの導電性塗膜は、アースされない状態では蓄電することがあります。導電性能をしっかりと発揮させるために通電性のある物に触れさせるなど、必ずアースをとってください。
- 設計、施工、ご使用上の注意については、当社にご確認ください。
- REACH規則、RoHS II 指令対応製品にCEマークは貼付されておりません。CEマークは部品単体でEU市場に上市するものでなければ必要ありません。

<カタログ>

- 製品改良のため本カタログ記載の内容は予告なく変更する場合があります。
- 本カタログ中に掲載した物性値等のデータは、測定値であり保証値ではありません。
- 本カタログに掲載した写真には、一部イメージ写真が含まれています。



ISO9001 登録範囲:
化成部品事業部
アキレスウエルダー(株)
ISO14001 登録範囲:
足利第一工場
滋賀第一工場
アキレスウエルダー(株)
ISO9001, ISO14001
JUSE-RA-2090
JUSE-EG-661

アキレス株式会社

<https://www.achilles.jp>

化成部品事業部 フィルム販売部

本 社：〒169-8885 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー
TEL 03-5338-9266 FAX 03-5338-9401
関 西 支 社：〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
TEL 06-4707-2281 FAX 06-4707-2303
北海道営業所：〒060-0807 北海道札幌市北区北七条西1-2-6 NCO札幌
TEL 011-806-2012 FAX 011-806-2015
九州営業所：〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-12-6 花村ビル
TEL 092-477-8471 FAX 092-477-8472
生産拠点：□足利第一工場 □滋賀第一工場

■このカタログの内容は2022年3月現在のものです。■掲載されている仕様は予告なく変更することがあります。

2203.3(1).CD/KW ■